

# 洪水・土砂災害について

洪水が心配される台風や集中豪雨のとき、どんなことに注意して、どんな準備をすればよいでしょうか？  
みなさんの家庭で洪水や土砂災害への対策ポイントを確認しましょう。

## ■ 雨の強さと降り方 (1時間降雨量)

<b>やや強い雨</b> 10～20mm未満  話し声が聞こえにくくなります。長雨になりそうなら注意が必要です。	<b>強い雨</b> 20～30mm未満  どしゃ降りの雨。傘をさしていても濡れてしまうほどの雨です。小さな川なら水があふれ出したり、がけ崩れの心配もあります。	<b>激しい雨</b> 30～50mm未満  山崩れ、がけ崩れが起こりやすくなります。道路の規制も行われます。避難の準備をしましょう。	<b>非常に激しい雨</b> 50～80mm未満  滝のように雨が降り、あたりが水しぶきで白っぽくなります。家の中で寝ている人の半分くらいが気づくほどの激しい雨です。	<b>猛烈な雨</b> 80mm以上  息苦しくなるような圧迫感があり、恐怖を感じます。大雨による災害が起こる恐れがあります。厳重な注意が必要です。
---	---	--	--	---

● 福島管区気象台が発表する大雨に関する予報と発表基準  
「大雨注意報」は災害が起きるおそれがある場合に発令され、「大雨警報」は重大な災害の起こるおそれのある場合に発令されます。

<b>大雨注意報</b> 1時間雨量…………… 40mm (降りはじめからの総雨量60mm) 3時間雨量…………… 70mm 24時間雨量…………… 100mm 以上になると予測される場合。	<b>大雨警報</b> 1時間雨量…………… 60mm (降りはじめからの総雨量100mm) 3時間雨量…………… 80mm 24時間雨量…………… 150mm 以上になると予測される場合。
--	--

## 土砂災害警戒区域の地形条件

洪水や大雨、地震によっておこる土砂災害に注意しましょう。土砂災害から身を守るためには、日頃の備えと早めの避難が必要です。

土砂災害には、がけ崩れ、土石流、地すべりの3種類があります。

<b>がけ崩れ</b> 傾斜度が30度以上である土地が崩壊する自然現象  「がけ崩れ」とは、地中にしみこんだ雨水により、急な斜面が突然滑り落ちる現象です。また地震によっておこることもあります。	<b>土石流</b> 山腹が崩壊して生じた土石流又は渓流の土石等が水と一体になって流下する自然現象  「土石流」とは、谷や山の斜面から崩れた土や石などが、大雨や長雨による水と一緒に流れて、一気に流れ出てくる現象です。	<b>地すべり</b> 土地の一部が地下水等に起因して滑る自然現象  「地すべり」とは、粘土のようなすべりやすい地層に雨水などがしみこみ、その影響で地下水位が上昇し、地面が滑り出す現象です。
---	---	--

## 土砂災害から身を守る

全国で年間平均1,000件以上の土砂災害が発生しています。土砂災害のほとんどは、雨にともなって突然発生するのが特徴です。梅雨時から台風シーズンにかけて一年のうちでも降水量の多い時にもっとも発生します。また、近年では短時間に異常な集中豪雨が降り、思いもよらないケースも頻発しています。「日頃の備え」を万全にし、いざとなったら「早めの避難」をこころがけましょう。

## 雨に注意していますか？

土砂災害の多くは雨から起こります。大雨や長雨で危険と思ったら早めに避難しましょう。1時間に20ミリ以上または降り始めから100ミリ以上の降雨量になったら十分な注意が必要です。



## 逃げ方を知っていますか？

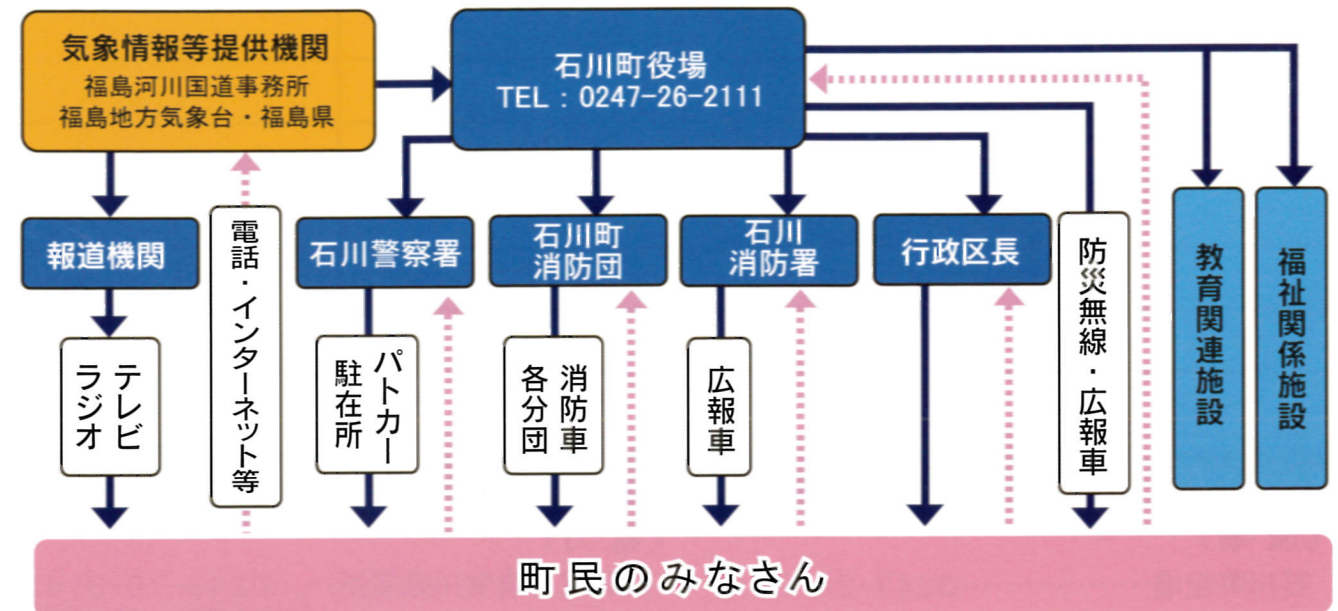
土石流はスピードが速いため、流れを背にして逃げたのでは追いつかれてしまいます。土砂の流れる方向とは、直角に逃げましょう。



# 災害時の情報伝達経路および情報収集

## ■ 情報の伝達経路

気象情報や避難勧告などは、次のような経路で町民のみなさんに伝達されます。大雨や洪水などの注意報・警報はテレビ・ラジオでも流れますので見落とさないようにしましょう。特に、避難勧告や指示が出たら速やかに避難してください。



## ■ 災害時の連絡方法

大きな災害が発生すると、電話回線が混み合ってしまう、電話の使用が困難になります。このようなときのために、災害が発生した場合、各電話会社が設置する「災害用伝言ダイヤルサービス」や「災害用伝言版サービス」を利用できます。

**忘れて 171?** **災害用伝言ダイヤル**

災害発生時(震度6弱以上の地震など)に稼働する、NTTの災害用伝言ダイヤルサービスです。

一般加入電話・公衆電話・ひかり電話でご利用できます。

※携帯電話やPHS、他通信事業者の電話からのご使用については、ご契約の各通信事業者へお問い合わせください。  
※他通信事業者の電話からは一部ご利用できない場合があります。  
※サービス開始は、テレビ・ラジオ等で通知されます。  
※サービス開始は、毎月1日(0:00~24:00)は体験利用できます。  
※「171」に関するご質問などは、局番なしの「116」へお問い合わせください。

**171** 音声ガイダンスにしたがって

伝言を録音する **1**      伝言を再生する **2**

被災地の方の電話番号を市外局番からダイヤルしてください。(通話料金が必要です。)

伝言を入れる (30秒以内)      伝言を聞く

## インターネットによる情報入手

- 国土交通省 [川の防災情報] ホームページ <http://www.river.go.jp/>
- 国土交通省 [川の防災情報] i モード <http://i.river.go.jp/>
- 福島地方気象台 <http://www.jma-net.go.jp/fukushima/>
- 福島県トップページ <http://www.cms.pref.fukushima.jp/>
- 福島県モバイル県庁 <http://mobile.pref.fukushima.jp/mobile/>
- 石川町トップページ <http://www.town.ishikawa.fukushima.jp/>

